

団体名

## 梅が丘三代を繋ぐ会

団体概要

地域の活動が世代を超えた顔の見えるまちづくりの必要性を感じ、3世代を繋いで顔がみえるまちづくりを目的とする。

●町内会や老人会と繋がり、町の子どものための育成プログラム作りを実施する。

●防災イベントを通して、子供たちと高齢者とのふれあいを深める。

●駄菓子屋を企画、実施。

## 活動名：地域の提携協力による防災力の強化と助け合いの環境づくり

### 1

活動の目標をどの程度達成できたか

昨年はコロナウイルスの猛威の為、申請時に予定していた子どもメディカルラリーや室内での町内高齢者の方による工作教室、会長宅の一室を開放して行っていた月一駄菓子屋での多世代交流などが困難となり、企画の規模や開催方法を工夫して繋がり維持に努めました。

①三重大学医学部学生による子どもメディカルラリー→愛知県立芸術大学学生と旭丘高校美術科学生による屋外でのアートイベントを2回開催に変更。

②春の一斉休校解除前に、町内のおばあちゃま方のご提案で子供用マスクを共同製作して子供会へ贈呈。

③室内で月一開催している駄菓子屋を緊急事態宣言などの状況を見つつカーポートでの屋外開催に切り替え、ビニールカーテンやアルコール除菌などの対策を取りながら射的やスーパーボールすくい、アイスキャンディーやたませんの販売を通して、子どもたちが息を抜ける場作りを工夫しました。また、屋外開催で冬の日暮れが早いため照明のために蜜蝋燭や竹あかりを学生や町のママと製作して、道ゆく方にも明かりを楽しんでいただきました。

④集会所で開催していた手仕事のつむぎ倶楽部を、子どもたちからのやってみたくてという小さい声を拾って2～3人の少人数で先生をしてくださる町のおばあちゃま宅で行いました。

また、若いママのユニフォームや入学式に着るスーツのサイズ直しの相談にも乗っていただき、個別に繕いもののご指導をいただきました。

### 2

活動の成果

困難な状況の中で小さな扉を開いていた事で、アートイベントのサイアノタイプをボーイスカウト名古屋第一師団にご紹介する事になり、また駄菓子屋の為に製作した小規模の竹あかりをこの夏拡張して、今年も中止予定の盆踊りや獅子行列にかわる七夕イベントの形で大きく開催する事が決定して、その準備のために熊本や三重県の竹あかり作家の方とのご縁が繋がるなど、町の枠を越えて子どもたちの育ちを支える絆が生まれました。



### 3

## 目標達成のために努力したこと（工夫）

①、②の内容も含め、コロナ禍で目立つ行動を避けるために、町内の組織に頼らず町の中での個人で気になる方にアプローチした事で、思っている以上の能力を持った方の協力を得られ、次に繋がるきっかけ作りを行うことができました。



### 4

## 活動で得た学び（みんなに伝えたいこと）

苦しく困難な状況で悩みながら工夫しながら小さく開いた扉の向こうに、渦中は思いもしなかったご縁や新しい景色が広がっていた感動は、本当に沢山の方とシェアしたいと思います。

個人の力は小さくても、思いの力を合わせる事の可能性をこれからも信じて「やれることをやれるときにやれるだけ楽しむ」ことをメンバー一丸となって続けていきたいと思っています。

